

TDC 通信パッケージ (Linux)
利用者メニュー操作説明書

初 版 2023年8月31日

改訂履歴

版数	改訂日	改訂内容	担当
1.0	2023/08/31	初版	E-STAGE

目次

画面操作に関する注意点	5
利用者メニュー画面遷移図	6
利用者メニューの起動方法	7
ファイル受信操作	8
(1) 受信条件入力	8
(2) 受信条件参照／修正	9
(3) 受信処理	10
ファイル再受信操作	11
(1) 再受信データの指定	11
(2) 再受信時の条件入力	12
(3) 再受信処理	13
ファイル送信操作	14
(1) 送信条件入力	14
(2) 送信条件参照／修正	15
(3) 送信処理	16
ファイル再送信操作（通常送信）	17
(1) 再送信（通常）データの指定	17
(2) 再送信（通常）時の条件入力	18
(3) 再送信（通常）処理	19
ファイル再送信操作（上書き送信）	20
(1) 再送信（上書き）データの指定	20
(2) 再送信（上書き）時の条件入力	21
(3) 再送信（上書き）処理	22
受信ファイル照会（蓄積メッセージ）操作	23
(1) 受信ファイル照会（蓄積メッセージ）の条件入力	23
(2) 受信ファイル照会（蓄積メッセージ）の結果表示	24
オーディットトレイル照会操作	25
(1) オーディットトレイル照会の条件入力	25
(2) オーディットトレイル照会の結果表示	26
転送制御マスタメンテナンス操作	27
(1) 登録済みデータの表示	27
(2) 新規データの入力	28
(3) 新規登録データの参照／修正	30
(4) 新規登録データの登録	31
(5) 既存データの削除	32
(6) 既存データの修正	33

アドレス帳マスタメンテナンス操作	34
(1) 登録済みデータの表示	34
(2) 新規データの入力.....	35
(3) 新規登録データの参照／修正	36
(4) 新規登録データの登録	37
(5) 既存データの削除.....	38
(6) 既存データの修正.....	39
振分けマスタメンテナンス操作.....	40
(1) 処理選択表示.....	40
(2) 新規データの入力.....	41
(3) 新規登録データの参照／修正	42
(4) 既存データの削除.....	43
(5) エラーデータの削除	45
(6) 既存データの修正.....	47
(7) 既存データの検索.....	50
転送結果照会操作	51
(1) 転送結果リスト表示の為の条件入力と表示	51
利用者メニュー終了操作.....	52

画面操作に関する注意点

(1) 基本操作

- ・ キーボードより入力したい文字を入力してリターンキーを押します。

(2) 漢字入力について

- ・ 漢字入力に対応していません。

(3) 入力値の省略について

- ・ 入力を促すメッセージに”省略可”と記されている場合、値を入力せずに次の項目の入力に移る事ができます。省略する場合はリターンキーのみ押して下さい。

(4) 入力途中のキャンセルについて

- ・ 複数項目入力（ファイル受信条件入力等）の入力途中でキャンセルする場合は“¥¥quit”と入力しリターンキーを押してください。

(5) 一覧表示途中のキャンセルについて

- ・ 一覧を表示している途中にキャンセルする場合は“q”を入力し、リターンキーを押してください。

(6) 漢字表示について

- ・ 画面上に表示される文字は、全てEUCコードです。
ネットワーク端末（telnet 等）でご利用になる場合、漢字コードをEUCに設定してください。

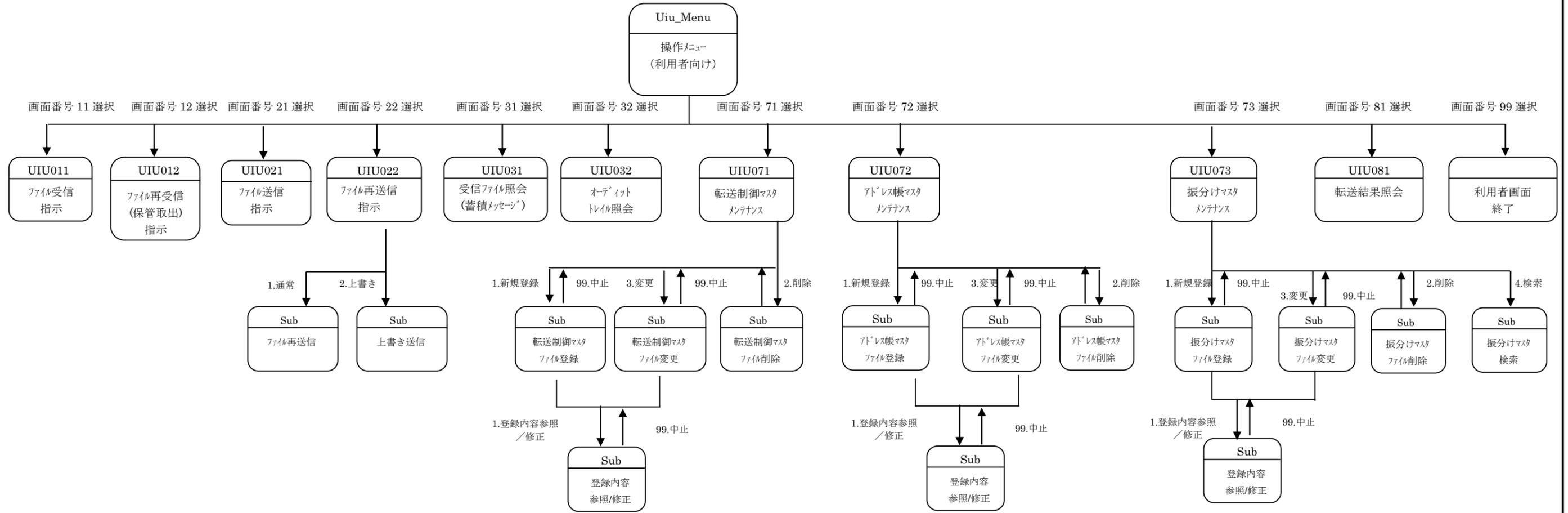
(7) システム起動中のマスタメンテナンスについて

- ・ プロセスに処理が残っている場合、転送制御マスタメンテナンス操作、アドレス帳マスタメンテナンス操作及び振分けマスタメンテナンス操作では、新規、変更、削除の各更新処理が実行できません（一覧の表示は可能です）。これらのプログラムでデータの更新処理を行う場合は、プロセスに処理が残っていないことを確認後、プログラムを実行してください。

※「TDC 通信パッケージ(Linux)」ではファイル送受信時のファイルフォーマットの中で「TNS拡張形式(可変長)」は保障対象外となりますのでご注意ください。

利用者メニュー画面遷移図

利用者メニュー画面遷移図



利用者メニューの起動方法

- ①ターミナルエミュレータ（ウィンドウ）を起動します。
- ②Uiu_menu と入力しリターンキーを押します。
- ③下記の画面が表示されます。

```
利用者ID(#99：利用者メニュー終了) を入力してください。==>
```

- ④利用者IDを入力し、リターンキーを押します。
- ⑤該当利用者IDが存在しない場合、下記の画面が表示されます。

```
#####  
<<エラー理由>>  
（パスワードファイル）検索しようとしたデータはありません。  
<<対処方法>>  
登録されているデータを指定してください。  
#####
```

- ⑥利用者IDを入力し、認識した場合、下記の画面が表示されます。

利用者メニュー

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 1. ファイル受信指示 | 7 1. 転送制御マスタメンテナンス |
| 1 2. ファイル再受信指示（保管取出指示） | 7 2. アドレス帳マスタメンテナンス |
| 2 1. ファイル送信指示 | 7 3. 振分けマスタメンテナンス |
| 2 2. ファイル再送信指示 | 8 1. 転送結果照会 |
| 3 1. 受信ファイル照会（蓄積メッセージ） | |
| 3 2. オーディットトレイル照会 | |
| | 9 9. 利用者メニュー終了 |

処理番号を入力してください。==>

ファイル受信操作

- ①利用者メニューで 11 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 受信条件入力

```
<受信先>-----
メッセージ識別子 (MAX8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>TNS001

差出し元 (¥¥all で全て受信 MAX24 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>SEND001

<受信情報>-----
ヘッダ削除 (0:しない 1:する ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>1

アプリケーションフォーマット (1:TNS 2:TNS 拡張 3:標準 4:自由 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>1

アプリケーション有効長 (MAX5 バイト 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>00250

ファイル拡張子 (MAX5 バイト 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>txt

ファイルパス名 (MAX 1 2 8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>/tmp

<受信オプション>-----
ファイル統合 (0:しない 1:する ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

コード変換 (0:しない 1:方式 1 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

圧縮の有無 (0:しない 1:方式 1 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

暗号化の有無 (0:しない 1:方式 1 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

-----
処理番号 (1:受信条件参照/修正 2:受信 99:中止) を入力してください。==>1
```

◎入力規則

- ・メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- ・差出し元：制約無し。スペースは前1バイトのみ可
- ・ヘッダ作成：0,1のみ
- ・アプリケーションフォーマット：1,2,3,4のみ
- ・アプリケーション有効長：数字のみ
- ・ファイル拡張子：英数字及び”.”、“-”、“_”
- ・ファイルパス名：英数字及び”.”、“-”、“_”、“/”
- ・ファイル統合：0,1のみ
- ・コード変換：0,1のみ
- ・圧縮の有無：0,1のみ
- ・暗号化の有無：0,1のみ

(2) 受信条件参照／修正

- 条件入力後以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:受信条件参照／修正 2:受信 99:中止) を入力してください。==>1

- 処理番号 1 を入力すると以下の内容が表示されます。修正したい項目の番号を入力してください。

処理番号 (1:受信条件参照／修正 2:受信 99:中止) を入力してください。==>1

<受信先>-----
1:メッセージ識別子 TNS001
2:差出し元 SEND001
<受信情報>-----
3:ヘッダ作成 する
4:アプリケーションフォーマット TNS
5:アプリケーション有効長 00250
6:ファイル拡張子 txt
7:ファイルパス名 /tmp
<受信オプション>-----
8:ファイル統合 しない
9:コード変換 しない
10:圧縮の有無 しない
11:暗号化の有無 しない

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>2

差出し元 (¥¥all で全て受信 MAX24 バイト ¥¥quit:中止) を入力してください。==>SEND0101

処理番号 (1:受信条件参照／修正 2:受信 99:中止) を入力してください。==>

(3) 受信処理

- 受信条件入力後、以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:受信条件参照/修正 2:受信 99:中止) を入力してください。==>2

- 処理番号 2 を入力すると以下の内容が表示されますので受信方法を入力してください。

受信方法 (1:非同期&通常 2:同期&通常 3:非同期&優先 4:同期&優先 99:メニューに戻る) を入力してください。==>2

```
#####  
<<エラー理由>>  
ファイル (パス) 名不正  
<<対処方法>>  
正しいデータをセットしてください。  
  
#####
```

何らかのエラーが発生した場合上記のような形式でエラーメッセージが表示されます。

正常終了時は、非同期の場合すぐに 同期の場合は処理が終了するのを待ってメニューに戻ります。

ファイル再受信操作

- ①利用者メニューで 12 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 再受信データの指定

メッセージ識別子 (MAX8 バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>

日時指定方法 (1:開始終了日付指定 2:過去 XXX 日指定 3:過去 XXX 時間指定 ¥quit:中止) ==>1

開始日時 (YYMMDDhhmm ¥quit:中止) を入力してください。==>0108020000

終了日時 (YYMMDDhhmm ¥quit:中止) を入力してください。==>0108022300

	指示日時	メッセージ識別子	差出元	優先/通常	終了日時	行-奴
--						
#1	01/08/02 11:22	TNSC_01	8419	通常	01/08/02 11:23	Y011j001
#2	01/08/02 11:23	TNSC_02	8419	通常	01/08/02 11:24	00000000
#3	01/08/02 11:24	TNSC_03	8419	通常	01/08/02 11:26	00000000
#4	01/08/02 11:26	TNSC_04	8419	通常	01/08/02 11:26	00000000
#5	01/08/02 11:26	TNSC_05	8419	通常	01/08/02 11:27	00000000
#6	01/08/02 11:27	TNSC_06	8419	通常	01/08/02 11:27	00000000
#7	01/08/02 11:27	TNSC_07	*	通常	01/08/02 11:28	00000000
#8	01/08/02 11:28	TNSC_08	8419	通常	01/08/02 11:28	00000000
#9	01/08/02 11:28	TXFC_01	8419	通常	01/08/02 11:30	Y011j001
=====	MORE	=====				

データが n 件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。(n:システム環境にて設定)
q キーを押すことによりデータの表示を中止します。

再受信する番号を入力してください。(1:再検索 99:中止) ==>

再受信する番号を入力する時は #1 のように # を必ずつけてください。

◎入力規則

- ・ 開始終了日付指定: YYMMDDhhmm (西暦下 2 桁, 月, 日, 時間, 分)
- ・ 過去日: 999 日まで
- ・ 過去時間: 999 時間まで

(2) 再受信時の条件入力

- 再受信するデータをリストから選択し、番号を入力します。

	指示日時	メッセージ識別子	差出元	優先/通常	終了日時	ステータス
--						
#1	01/08/02 11:22	TNSC_01	8419	通常	01/08/02 11:23	Y011j001
#2	01/08/02 11:23	TNSC_02	8419	通常	01/08/02 11:24	00000000
#3	01/08/02 11:24	TNSC_03	8419	通常	01/08/02 11:26	00000000
#4	01/08/02 11:26	TNSC_04	8419	通常	01/08/02 11:26	00000000
#5	01/08/02 11:26	TNSC_05	8419	通常	01/08/02 11:27	00000000
#6	01/08/02 11:27	TNSC_06	8419	通常	01/08/02 11:27	00000000
#7	01/08/02 11:27	TNSC_07	*	通常	01/08/02 11:28	00000000
#8	01/08/02 11:28	TNSC_08	8419	通常	01/08/02 11:28	00000000
#9	01/08/02 11:28	TXFC_01	8419	通常	01/08/02 11:30	Y011j001

再受信する番号を入力してください。(1:再検索 99:中止) ==>#1

再受信する番号を入力する時は #1 のように # を必ずつけてください。

再受信する番号を入力してください。(1:再検索 99:中止) ==>#1

<受信情報>-----
ファイルパス名 (MAX 128バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>/tmp

ファイル拡張子 (MAX5バイト 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>bin

受信方法 (1:非同期&通常 2:同期&通常 3:非同期&優先 4:同期&優先 99:メニューに戻る)を入力してください。==>

◎入力規則

- ファイル拡張子：英数字及び”.”、“-”、“_”
- ファイルパス名：英数字及び”.”、“-”、“_”、“/”

(3) 再受信処理

- 条件入力後以下の内容が表示されますので受信方法を入力してください。

受信方法 (1:非同期&通常 2:同期&通常 3:非同期&優先 4:同期&優先 99:メニューに戻る) を入力してください。==>

```
#####  
<<エラー理由>>  
ファイル (パス) 名不正  
<<対処方法>>  
正しいデータをセットしてください。  
  
#####
```

何らかのエラーが発生した場合上記のような形式でエラーメッセージが表示されます。

正常終了時は非同期の場合すぐに 同期の場合は処理が終了するのを待ってメニューに戻ります。

ファイル送信操作

- ①利用者メニューで 21 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 送信条件入力

```
処理番号を入力してください。==>21

<送信先>-----
メッセージ識別子 (MAX8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>MSGIS01

宛先 (¥¥all で全て送信 MAX24 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>SEND01

<送信情報>-----
ヘッダ作成 (0:しない 1:する ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>1

アプリケーションフォーマット (1:TNS 2:TNS 拡張 3:標準 4:自由 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>1

アプリケーション有効長 (MAX5 バイト 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>00250

ファイル拡張子 (MAX5 バイト 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>text

ファイルパス名 (MAX 1 2 8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>/export/home/sugi/send/B/B_TNSC001

<送信オプション>-----
コード変換 (0:しない 1:方式 1 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

圧縮の有無 (0:しない 1:方式 1 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

暗号化の有無 (0:しない 1:方式 1 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>1

-----
処理番号 (1:送信条件参照/修正 2:送信 99:中止)を入力してください。==>
```

◎入力規則

- ・メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- ・宛先：制約無し。スペースは前1バイトのみ可
- ・ヘッダ作成：0,1のみ
- ・アプリケーションフォーマット：1,2,3,4のみ
- ・アプリケーション有効長：数字のみ
- ・ファイル拡張子：英数字及び”.”、“_”
- ・ファイルパス名：英数字及び”.”、“_”、“/”
- ・コード変換：0,1のみ
- ・圧縮の有無：0,1のみ
- ・暗号化の有無：0,1のみ

(2) 送信条件参照／修正

- 条件入力後以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:送信条件参照／修正 2:送信 99:中止) を入力してください。==>

- 処理番号 1 を、選択すると以下の内容が表示されます。修正したい項目の番号を入力してください。

処理番号 (1:送信条件参照／修正 2:送信 99:中止) を入力してください。==>1

<送信先>-----

1:メッセージ識別子	MSGIS01
2:宛先	SEND01

<送信情報>-----

3:ヘッダ作成	する
4:アプリケーションフォーマット	T N S
5:アプリケーション有効長	00250
6:ファイル拡張子	text
7:ファイルパス名	/export/home/sugi/send/B/B_TNSC001

<送信オプション>-----

8:コード変換	しない
9:圧縮の有無	しない
10:暗号化の有無	方式 1

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>

(3) 送信処理

- 送信条件入力後、以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:送信条件参照/修正 2:送信 99:中止) を入力してください。==>

- 処理番号 2 を入力すると以下の内容が表示されますので送信方法を入力してください。

送信方法 (1:非同期&通常 2:同期&通常 3:非同期&優先 4:同期&優先 99:メニューに戻る) を入力してください。==>

```
#####  
<<エラー理由>>  
ファイル (パス) 名不正  
<<対処方法>>  
正しいデータをセットしてください。  
  
#####
```

何らかのエラーが発生した場合上記のような形式でエラーメッセージが表示されます。

正常終了時は、非同期の場合すぐに 同期の場合は処理が終了するのを待ってメニューに戻ります。

ファイル再送信操作（通常送信）

- ①利用者メニューで 22 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

（1）再送信（通常）データの指定

再送信方法（1:通常 2:上書き 99:メニューに戻る）を入力してください。==>1
メッセージ識別子（MAX8 バイト 省略可 ¥quit:中止）を入力してください==>
宛先（MAX24 バイト 省略可 ¥quit:中止）を入力してください==>
日時指定方法（1:開始終了日付指定 2:過去 XXX 日指定 3:過去 XXX 時間指定 ¥quit:中止）==>1
開始日時（YYMMDDhhmm ¥quit:中止）を入力してください。==>0108010000
終了日時（YYMMDDhhmm ¥quit:中止）を入力してください。==>0108042359

	指示日時	メッセージ識別子	宛先	優先/通常	終了日時	ステータス
#1	01/08/01 01:01	11111111	SEND0001	優先	01/08/01 01:01	11111111
#2	01/08/01 01:11	11111111	RECV0002	優先	01/08/01 01:11	11111111
#3	01/08/01 01:15	11111111	SEND0001	優先	01/08/01 01:15	11111111
#4	01/08/01 01:20	11111111	RECV0002	優先	01/08/01 01:21	11111111

データが n 件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。（n：システム環境にて設定）
q キーを押すことによりデータの表示を中止します。

再送信する番号を入力してください。（1:再検索 99:中止）==>1

再送信する番号を入力する時は #1 のように # を必ずつけてください。

◎入力規則

- ・ 再送信方法：1, 2 のみ
- ・ メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- ・ 宛先：制約無し。スペースは前 1 バイトのみ可
- ・ 開始終了日付指定：YYMMDDhhmm（西暦下 2 桁, 月, 日, 時間, 分）
- ・ 過去日：999 日まで
- ・ 過去時間：999 時間まで

(2) 再送信 (通常) 時の条件入力

- 再送信するデータをリストから選択し、番号を入力します。

再送信方法 (1:通常 2:上書き 99:メニューに戻る) を入力してください。==>1						
メッセージ識別子 (MAX8 バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>						
宛先 (MAX24 バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>						
日時指定方法 (1:開始終了日付指定 2:過去 XXX 日指定 3:過去 XXX 時間指定 ¥quit:中止) ==>3						
過去何時間分 (MAX:999 ¥quit:中止) を表示しますか==>3						
	指示日時	メッセージ識別子	宛先	優先/通常	終了日時	ステータス

#1	01/08/02 14:30	TNSC_01	8419	優先	01/08/02 14:30	00000000
#2	01/08/02 14:30	TNSC_02	8419	優先	01/08/02 14:30	00000000
再送信する番号を入力してください。 (1:再検索 99:中止) ==>#1						

再送信する番号を入力する時は #1 のように # を必ずつけてください。

<送信情報>-----	
ファイルパス名 (MAX 128 バイト ¥quit:中止)	
を入力してください。==>/export/home/sugi/send/B/B_TNSC001	
ファイル拡張子 (MAX5 バイト 省略可 ¥quit:中止)	
を入力してください。==>bin	

◎入力規則

- ファイル拡張子: 英数字及び".","-","_"
- ファイルパス名: 英数字及び".","-","_","/"

(3) 再送信 (通常) 処理

- 条件入力後以下の内容が表示されますので送信方法を入力してください。

送信方法 (1:非同期&通常 2:同期&通常 3:非同期&優先 4:同期&優先 99:メニューに戻る)を入力してください。
==>2

```
#####  
<<エラー理由>>  
ファイル (パス) 名不正  
<<対処方法>>  
正しいデータをセットしてください。  
#####
```

何らかのエラーが発生した場合上記のような形式でエラーメッセージが表示されます。

正常終了時は非同期の場合すぐに 同期の場合は処理が終了するのを待ってメニューに戻ります。

ファイル再送信操作（上書き送信）

- ①利用者メニューで 22 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

（1）再送信（上書き）データの指定

再送信方法（1:通常 2:上書き 99:メニューに戻る）を入力してください。==>2

メッセージ識別子（MAX8 バイト 省略可 ¥quit:中止）を入力してください。==>

宛先（MAX24 バイト 省略可 ¥quit:中止）を入力してください。==>

日時指定方法（1:開始終了日付指定 2:過去 XXX 日指定 3:過去 XXX 時間指定 ¥quit:中止）==>3

過去何時間分（MAX:999 ¥quit:中止）を表示しますか==>3

	指示日時	メッセージ識別子	宛先	優先/通常	終了日時	ステータス
#1	01/08/02 14:30	TNSC_01	8419	優先	01/08/02 14:30	00000000
#2	01/08/02 14:30	TNSC_02	8419	優先	01/08/02 14:30	00000000
#3	01/08/02 14:30	TNSC_03	8419	優先	01/08/02 14:31	00000000
#4	01/08/02 14:31	TNSC_04	8419	優先	01/08/02 14:31	00000000
#5	01/08/02 14:31	TNSC_05	8419	優先	01/08/02 14:31	00000000
#6	01/08/02 14:31	TNSC_06	8419	優先	01/08/02 14:31	00000000
#7	01/08/02 14:31	TNSC_07	*	優先	01/08/02 14:31	00000000
#8	01/08/02 14:31	TNSC_08	8419	優先	01/08/02 14:31	00000000
#9	01/08/02 14:31	TXFC_01	8419	優先	01/08/02 14:32	00000000

データが n 件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。（n：システム環境にて設定）
q キーを押すことによりデータの表示を中止します。

再送信する番号を入力してください。（1:再検索 99:中止）==>

再送信する番号を入力する時は #1 のように # を必ずつけてください。

◎入力規則

- ・再送信方法：1, 2 のみ
- ・メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- ・宛先：制約無し。スペースは前 1 バイトのみ可
- ・開始終了日付指定：YYMMDDhhmm（西暦下 2 桁, 月, 日, 時間, 分）
- ・過去日：999 日まで
- ・過去時間：999 時間まで

(2) 再送信（上書き）時の条件入力

- 再送信するデータをリストから選択し、番号を入力します。

	指示日時	メッセージ識別子	宛先	優先/通常	終了日時	ステータス

#1	01/08/02 14:30	TNSC_01	8419	優先	01/08/02 14:30	00000000
#2	01/08/02 14:30	TNSC_02	8419	優先	01/08/02 14:30	00000000
#3	01/08/02 14:30	TNSC_03	8419	優先	01/08/02 14:31	00000000

再送信する番号を入力してください。（1:再検索 99:中止） ==>#1

再送信する番号を入力する時は #1 のように # を必ずつけてください。

```

<送信先>-----
1:メッセージ識別子          TNSC_01
2:宛先                      8419
<送信情報>-----
3:ヘッダ作成                しない
4:アプリケーションフォーマット  T N S
5:アプリケーション有効長     00250
6:ファイル拡張子           METEO
7:ファイルパス名           /export/home/sugi/send/B/B_TNSC001
<送信オプション>-----
8:コード変換                しない
9:圧縮の有無                しない
10:暗号化の有無             しない
-----
修正する項目番号（99 で中止）を入力してください。 ==>

```

◎入力規則

- メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- 宛先：制約無し。スペースは前1バイトのみ可
- ヘッダ作成：0,1のみ
- アプリケーションフォーマット：1,2,3,4のみ
- アプリケーション有効長：数字のみ
- ファイル拡張子：英数字及び”.”、“”_”
- ファイルパス名：英数字及び”.”、“”_”、“/”
- コード変換：0,1のみ
- 圧縮の有無：0,1のみ
- 暗号化の有無：0,1のみ

(3) 再送信（上書き）処理

- 条件入力後以下の内容が表示されますので送信方法を入力してください。

修正する項目番号（99 で中止）を入力してください。==>99

処理番号（1:送信条件参照／修正 2:送信 99:中止）を入力してください。==>2

送信方法（1:非同期&通常 2:同期&通常 3:非同期&優先 4:同期&優先 99:メニューに戻る）を入力してください。==>

#####

<<エラー理由>>

ファイル（パス）名不正

<<対処方法>>

正しいデータをセットしてください。

#####

何らかのエラーが発生した場合上記のような形式でエラーメッセージが表示されます。

正常終了時は非同期の場合すぐに、同期の場合は処理が終了するのを待ってメニューに戻ります。

受信ファイル照会（蓄積メッセージ）操作

- ①利用者メニューで 31 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

（1）受信ファイル照会（蓄積メッセージ）の条件入力

メッセージ識別子（¥¥all:全て MAX8 バイト ¥quit:中止）を入力してください。==>¥¥all

宛先（¥¥all:全て MAX24 バイト ¥quit:中止）を入力してください。==>¥¥all

	送信者	ユーザ ID	メッセージ識別子	ファイルサイズ	蓄積日時
#1	0999	0999015		00000001024	01/07/23 17:13:25
#2	0999	0999015	ABCD	00000000000	01/07/31 13:28:54
#3	0999	0999015	TEST	00000138133	01/08/01 10:51:52
#4	0999	0999015	TNSW_04	00000007776	01/08/02 11:34:23
#5	0999	0999015	TNSW_01	00000011664	01/08/02 14:51:12
#6	0999	0999015	TNSW_02	00000011664	01/08/02 14:51:28
#7	0999	0999015	TNSW_02	00000011664	01/08/02 14:51:33
#8	0999	0999015	TNSW_02	00000011664	01/08/02 14:51:37
#9	0999	0999015	TNSW_03	00000011664	01/08/02 14:51:55

処理する番号を入力してください。（1:再検索 99:メニューに戻る）==>

◎入力規則

- ・メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- ・差出し元：制約無し

条件入力後、該当データを表示します。

(2) 受信ファイル照会 (蓄積メッセージ) の結果表示

- 受信ファイルリストを表示します。

	送信者	ユーザ ID	メッセージ 識別子	ファイルサイズ	蓄積日時
#1	0999	0999015		00000001024	01/07/23 17:13:25
#2	0999	0999015	ABCD	00000000000	01/07/31 13:28:54
#3	0999	0999015	TEST	00000138133	01/08/01 10:51:52
#4	0999	0999015	TNSW_04	00000007776	01/08/02 11:34:23
#5	0999	0999015	TNSW_01	00000011664	01/08/02 14:51:12
#6	0999	0999015	TNSW_02	00000011664	01/08/02 14:51:28
#7	0999	0999015	TNSW_02	00000011664	01/08/02 14:51:33
#8	0999	0999015	TNSW_02	00000011664	01/08/02 14:51:37
#9	0999	0999015	TNSW_03	00000011664	01/08/02 14:51:55
	=====	MORE	=====		

データが n 件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。(n : システム環境にて設定)
q キーを押すことによりデータの表示を中止します。

オーデジットトレイル照会操作

- ①利用者メニューで 32 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) オーデジットトレイル照会の条件入力

日時指定方法 (1:開始終了日付指定 2:過去 XXX 日指定 ¥quit:中止) ==>2

過去何日分 (MAX:999 ¥quit:中止) を表示しますか==>1

メッセージ区分 (¥all:全て 1:送信 2:受信 ¥quit:中止) を入力してください。==>¥all

メッセージ状態 (¥all:全て 1:未受信 2:受信済 3:削除 ¥quit:中止) を入力してください。==>¥all

◎入力規則

- ・ 開始終了日付指定 : YYMMDD (西暦下 2 桁月日)
- ・ 過去日 : 999 日まで
- ・ 過去時間 : 999 時間まで
- ・ メッセージ区分 : 1, 2, ¥all, ¥quit のみ
- ・ メッセージ状態 : 1, 2, 3, ¥all, ¥quit のみ

条件入力後、該当データを表示します。

(2) オーディットトレイル照会の結果表示

削除理由	メッセージ識別子	発信元 ニックネーム	宛先 保管参照キー	レポートタイプ 受信/削除時間	宛先 保管参照キー	ステータス 送信日
#1 未削除 18:17	FREE / /	0999	0999U05	1	0999	0999U05 未受信 01/08/01
#2 未削除 18:18	FREE 01/08/01	0999	0999U05	1	VHQILOWW	0999U05 受信済 01/08/01
#3 未削除 18:18	FREE 01/08/01	0999	0999U05	1	VHQIL79W	0999U05 受信済 01/08/01
#4 未削除 18:19	FREE 01/08/01	0999	0999U05	1	VHQIMFX6	0999U05 受信済 01/08/01
#5 未削除 18:19	FREE 01/08/01	0999	0999U05	1	VHQIMM2E	0999U05 受信済 01/08/01
#6 未削除 18:19	TNS01 01/08/01	0999	0999U05	1	VHQIMUR3	0999U05 受信済 01/08/01
#7 未削除 18:20	TNS01 01/08/01	0999	0999U05	1	VHQIM10K	0999U05 受信済 01/08/01
#8 未削除 17:54	FREE 01/08/01	0999	0999U05	0	0999	0999U05 受信済 01/08/01
#9 未削除 17:59	FREE 01/08/01	0999	0999U05	0	0999	0999U05 受信済 01/08/01

===== MORE =====

データがn件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。(n:システム環境にて設定)
qキーを押すことによりデータの表示を中止します。

転送制御マスタメンテナンス操作

- ①利用者メニューで 71 を入力します。
- ②下記の登録済みリストが表示されます。（1件もデータがない場合はリスト表示はありません。）
- ③データ登録／修正時、不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 登録済みデータの表示

メッセージ識別子	ファイルコード	拡張子	フォーマット	有効長	圧縮	暗号化	コード変換	保存期間	JIS 制定年号	
#1	TNSW_01	TNS	COMET	T N S	250	しない	しない	しない	0	83
しない 対象外	01/07/31									
#2	TNSW_02	TNS	COMET	T N S	250	しない	しない	しない	0	83
しない 対象外	01/07/31									
#3	TNSW_03	TNS	COMET	T N S	250	しない	しない	しない	0	83
しない 対象外	01/07/31									
#4	TNSW_04	TNS	COMET	T N S	250	しない	しない	しない	0	83
しない 対象外	01/07/31									
#5	TNSW_05	TNS	COMET	T N S	250	しない	しない	しない	0	83
しない 対象外	01/07/31									
#6	TNSW_06	TNS	COMET	T N S	250	しない	しない	方式 1	0	83
しない 対象外	01/07/31									
#7	TNSW_07	TNS	COMET	T N S	250	しない	しない	しない	0	83
しない 対象外	01/07/31									
#8	TNSW_08	TNS	COMET	T N S	250	しない	しない	しない	0	83
しない 対象外	01/07/31									
#9	TXFW_01	TXF	COMET	T N S 拡張	750	しない	しない	しない	0	83
しない 対象外	01/07/31									
=====	MORE	=====								

登録済みのデータが1件もない場合はこのリスト表示はありません。

データがn件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。（n：システム環境にて設定）
qキーを押すことによりデータの表示を中止します。

(2) 新規データの入力

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>

- 処理番号 1 を選択すると以下の内容が表示されますのでデータを順番に入力してください。
- 全てのデータを入力する必要があります。

<登録内容の表示>-----
メッセージ識別子 (MAX8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>AAA

ファイルコード (MAX8 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>FCODEAA

ファイル拡張子 (MAX5 バイト 省略可 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>DATA

アプリケーションフォーマット (1:TNS 2:TNS 拡張 3:標準 4:自由 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>4

アプリケーション有効長 (MAX5 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>121

圧縮の有無 (0:しない 1:方式 1 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>

暗号化の有無 (0:しない 1:方式 1 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

コード変換 (0:しない 1:方式 1 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

ファイル保存期間 (MAX99 日 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

JIS 漢字制定年号 (固定 2 桁 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>83

ヘッダ作成 (0:しない 1:する ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>0

一括受信対象フラグ (0:対象 1:対象外 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>1

処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止)を入力してください。==>1

◎入力規則

- ・ メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- ・ ファイルコード：大文字英数字、一部記号のみ
- ・ ファイル拡張子：英数字及び”.”、“-”、“_”
- ・ アプリケーションフォーマット：1, 2, 3, 4のみ
- ・ アプリケーション有効長：数字のみ
- ・ 圧縮の有無：0, 1のみ
- ・ 暗号化の有無：0, 1のみ
- ・ コード変換：0, 1のみ
- ・ ファイル保存期間：0~99日
- ・ JIS漢字制定年号：78, 83（数字2桁固定）
- ・ ヘッダ作成：0, 1のみ
- ・ 一括受信対象フラグ：0, 1のみ

(3) 新規登録データの参照／修正

- ・ 新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

- ・ 処理番号 1 を選択すると以下の内容が表示されます。修正する場合は該当項目の左側にある数字を、入力してください。
- ・ 参照のみの場合は 99 を入力してください。

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

<登録内容の表示>-----

1:メッセージ識別子	AAA
2:ファイルコード	FCODEAA
3:ファイル拡張子	DATA
4:アプリケーションフォーマット	自由
5:アプリケーション有効長	121
6:圧縮の有無	しない
7:暗号化の有無	しない
8:コード変換	しない
9:ファイル保存期間	0
10:JIS 漢字制定年号	83
11:ヘッダ作成	しない
12:一括受信対象フラグ	対象外

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>1

メッセージ識別子 (MAX8 バイト ¥quit:中止) を入力してください。==>MSGID01

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>

(4) 新規登録データの登録

- ・ 新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。
- ・ 登録処理後は削除、修正が可能です。

処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

- ・ 処理番号 2 を選択すると登録されます。
- ・ 登録時、登録しようとしているメッセージ識別子もしくはファイルコードが既にマスタに存在する場合、以下の内容が表示され登録処理は実行されません。

```
#####  
<<エラー理由>>  
(転送制御マスタ) そのキーは既に存在します。  
<<対処方法>>  
別のキーに変更してください。  
  
#####
```

- ・ この場合メッセージ識別子、ファイルコードを変更するか、既存のキー重複データを削除してください。

(5) 既存データの削除

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>2

- 処理番号2を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくはメッセージ識別子（**¥**:中止）を入力してください。==>#3

- 処理が正常に終了すると以下の内容が表示されます。

処理番号（1:別のデータを処理 99:メニューに戻る）を入力してください。==>1

- エラーが発生した場合以下のような形式でエラーメッセージが表示されます。

```
#####  
<<エラー理由>>  
(転送制御マスタ) テンポラリファイル読み込みエラー  
<<対処方法>>  
実行環境を確認してください。  
#####
```

(6) 既存データの修正

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>3

- 処理番号3を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくはメッセージ識別子（¥:中止）を入力してください。==>

- 以下のように登録内容が表示されます。

<登録内容の表示>-----
メッセージ識別子 FREC_01
ファイルコード FRE
1:ファイル拡張子 METEO
2:アプリケーションフォーマット 自由
3:アプリケーション有効長 1000
4:圧縮の有無 しない
5:暗号化の有無 しない
6:コード変換 しない
7:ファイル保存期間 0
8:JIS 漢字制定年号 83
9:ヘッダ作成 しない
10:一括受信対象フラグ 対象外

修正する項目番号（99で中止）を入力してください。==>1

ファイル拡張子 (MAX5バイト ¥quit:中止)を入力してください。==>jpeg

処理番号（1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止）を入力してください。==>2

- 処理番号2を入力すると登録されます。

メッセージ識別子、ファイルコードはキー項目の為、修正できません。変更する場合は一旦削除し再登録してください。

アドレス帳マスタメンテナンス操作

- ①利用者メニューで 72 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 登録済みデータの表示

別名	宛先種別	宛先
#1 8419	直接宛先	0999.0999001

処理番号 (1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る) を入力してください。==>

登録済みのデータが1件もない場合はこのリスト表示はありません。

データがn件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。(n:システム環境にて設定)
qキーを押すことによりデータの表示を中止します。

(2) 新規データの入力

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>1

- 処理番号1を入力すると以下の内容が表示されますのでデータを順番に入力してください。
- 全てのデータを入力する必要があります。

<登録内容の表示>-----
別名 (MAX24 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>ALIALI11

宛先種別 (1:ニックネーム 2:デリバリリスト 3:直接宛先 ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>3

宛先 (MAX17 バイト ¥¥quit:中止)
を入力してください。==>ALAL.ALAL

処理番号（1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止）を入力してください。==>1

◎入力規則

- 別名：制約無し。スペースは前1バイトのみ可
- 宛先種別：1,2,3のみ
- 宛先：大文字英数字、一部記号(*を除く)、“@”のみ。スペースは前1バイトのみ可

(3) 新規登録データの参照／修正

- ・ 新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

- ・ 処理番号 1 を選択すると以下の内容が表示されます。修正する場合は該当項目の、左側にある数字を入力してください。
- ・ 参照のみの場合は 99 を入力してください。

<登録内容の表示>-----

1:別名	ALIALI11
2:宛先種別	直接宛先
3:宛先	ALAL. ALAL

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>2

宛先種別 (1:ニックネーム 2:デリバリリスト 3:直接宛先 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>3

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>99

(4) 新規登録データの登録

- ・ 新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。
- ・ 登録処理後は削除、修正が可能です。

処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>2

- ・ 処理番号 2 を選択すると登録されます。
- ・ 登録時、登録対象の別名が既にマスタに存在する場合は、以下の内容が表示され登録処理は、実行されません。

```
#####  
<<エラー理由>>  
  (アドレス帳マスタ) そのキーは既に存在します。  
<<対処方法>>  
  別のキーに変更してください。  
  
#####
```

- ・ この場合別名を変更するか、既存のキー重複データを削除してください。

(5) 既存データの削除

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>2

- 処理番号2を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくは別名（※:中止）を入力してください。==>#3

- 処理が正常に終了すると以下の内容が表示されます。

処理番号（1:別のデータを処理 99:メニューに戻る）を入力してください。==>1

エラーが発生した場合以下のような形式でエラーメッセージが表示されます。

```
#####  
<<エラー理由>>  
（アドレス帳マスタ）テンポラリファイル読み込みエラー  
<<対処方法>>  
実行環境を確認してください。  
#####
```

(6) 既存データの修正

- 登録済みリスト表示後（既存データが存在した場合）、以下の内容が表示されます。

処理番号（1:新規登録 2:削除 3:修正 99:メニューに戻る）を入力してください。==>3

- 処理番号3を入力すると以下の内容が表示されます。

処理するデータのレコード番号もしくは別名（¥¥:中止）を入力してください。==>ALIAS05

以下のように登録内容が表示されます。

<登録内容の表示>-----

別名	ALIALI11
1:宛先種別	直接宛先
2:宛先	ALAL. ALAL

修正する項目番号（99で中止）を入力してください。==>1

宛先種別（1:ニックネーム 2:デリバリリスト 3:直接宛先 ¥¥quit:中止）を入力してください。==>3

処理番号（1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止）を入力してください。==>99

処理番号2を入力すると登録されます。

別名はキー項目の為、修正できません。変更する場合は一旦削除し再登録してください。

振分けマスタメンテナンス操作

- ①利用者メニューで 73 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 処理選択表示

<処理選択>-----
振分けマスタメンテナンス指定方法 (1:新規 2:削除 3:修正 4.検索 99:メニューに戻る)
を入力してください。==>

- ・ 振分けマスタを新規に登録する場合は、1 を入力して下さい。
- ・ 既に登録済みの振分けマスタを削除する場合は、2 を入力して下さい。
- ・ 既に登録済みの振分けマスタを修正する場合は、3 を入力して下さい。
- ・ 既に登録済みの振分けマスタを検索する場合は、4 を入力して下さい。

(2) 新規データの入力

- ・ 処理番号 1 を入力すると以下の内容が表示されますのでデータを順番に入力してください。
- ・ 全てのデータを入力する必要があります。

```
<処理選択>-----
振分けマスタメンテナンス指定方法 (1:新規 2:削除 3:修正 4:検索 99:メニューに戻る)
を入力してください。==>1

<振分け情報>-----
利用者ID (Max 20バイト 省略可 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>
宛先 (Max 24バイト ¥¥quit:中止) を入力してください。==>
メッセージ識別子 (Max 8バイト 省略可 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>TNSW_01
プロセスID (Max 24バイト ¥¥quit:中止) を入力してください。==> USER001@UDCOM
開放先指定フラグ (0:無効 1:有効 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>0
ファイルパス名 (Max 100バイト ¥¥quit:中止) を入力してください。==>/tmp
開始有効日 (YYYYMMDD 年4桁月2桁日2桁 省略可 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>
20031115

<確認>-----
処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1
```

◎入力規則

- ・ 利用者ID：制約無し
- ・ 宛先：EDI-ID またはプロセスIDのみ
EDI-ID — 英大文字数字 1~8 桁+”. ”+英大文字数字 1~8 桁
プロセスID — 英大文字数字 1~10 桁+”@”+英大文字数字 1~5 桁
- ・ メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- ・ プロセスID：宛先が英大文字数字 1~10 桁+”@”+英大文字数字 1~5 桁の場合は宛先と同じ
それ以外は英大文字数字 1~10 桁+”@”+英大文字数字 1~5 桁
- ・ 開放先指定フラグ：0,1のみ
- ・ ファイルパス名：英数字及び”. ”、“-“、”_”、“/”
- ・ 開始有効日：数字のみ

※注意

利用者IDを省略した場合はログイン時のユーザーを利用者IDとして登録します。

(3) 新規登録データの参照／修正

- 新規登録時、全てのデータを入力すると以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

- 処理番号 1 を選択すると以下の内容が表示されます。修正する場合は該当項目の、左側にある数字を入力してください。
- 参照のみの場合は 99 を入力してください。

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

<登録内容の表示>-----

利用者 I D	GWISE
宛先	USER1
メッセージ識別子	TNSW001
1. プロセス I D	USER001@UDCOM
2. 開放先指定フラグ	有効
3. ファイルパス名	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U01
4. 開始有効日	20031115

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>5

ファイルパス名 (Max 100バイト ¥¥quit:中止) を入力してください。==>/DIEX_SHR_T/DCS01-1999U01

<確認>-----

処理番号 (1:登録内容参照／修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

(4) 既存データの削除

- ・ 処理番号 2 を入力すると、以下の内容が表示されます。

<検索条件>-----

利用者 ID (Max 20バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>
宛先 (Max 24バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>
メッセージ識別子 (Max 8バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>

- ・ 省略した場合はデータ全てを検索対象とします。

区分 メッセージ識別子	開放 開始有効日	利用者 ID 送信パス	宛先	プロセス ID

<検索一覧>-----				
#1	手動	GWISE1	USER1	USER001@UDCOM
TNSW0001	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U01		
	20031128			
#2	自動	GWISE1	USER2	USER002@UDCOM
TNSW0002	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U02		
	20031128			
#3	エラー	GWISE2	USER3	USER003@UDCOM
TNSW0003	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03		
	20031128			
#4	手動	GWISE3	USER4	USER004@UDCOM
TNSW0004	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U04		
	20031128			
#5	自動	GWISE4	USER5	USER005@UDCOM
TNSW0005	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U05		
	20031128			
#6	エラー	GWISE1	USER6	USER006@UDCOM
TNSW0006	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U06		
	20031128			
#7	手動	GWISE2	USER7	USER007@UDCOM
TNSW0007	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U07		
	20031128			
#8	自動(修正あり)	GWISE3	USER8	USER008@UDCOM
TNSW0008	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U08		
	20031128			
#9	エラー	GWISE4	USER9	USER009@UDCOM
TNSW0009	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U09		
	20031128			

処理選択 (1:削除 2:エラーデータ削除 3:再検索 99:中止)
を入力してください。==>

- ・ 処理選択で1を選択すると以下の内容が表示されます。
削除したい処理番号を入力してください。

処理選択 (1:削除 2:エラーデータ削除 3:再検索 99:中止)
を入力してください。==>1

処理選択 (#n 処理番号 99:中止)
を入力してください。==>#1

- ・ 処理が正常に終了すると以下の内容が表示されます。

処理番号 (1:別のデータを処理 99:メニューに戻る) を入力してください。==>1

(5) エラーデータの削除

- ・ 処理番号 2 を入力すると、以下の内容が表示されます。

<p><検索条件>-----</p> <p>利用者 ID (Max 20バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==> 宛先 (Max 24バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==> メッセージ識別子 (Max 8バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==></p>

- ・ 省略した場合はデータ全てを検索対象とします。

区分 メッセージ識別子	開放 開始有効日	利用者 ID 送信パス	宛先	プロセス ID

<検索一覧>-----				
#1	手動	GWISE1	USER1	USER001@UDCOM
TNSW0001	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U01		
	20031128			
#2	自動	GWISE1	USER2	USER002@UDCOM
TNSW0002	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U02		
	20031128			
#3	エラー	GWISE2	USER3	USER003@UDCOM
TNSW0003	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03		
	20031128			
#4	手動	GWISE3	USER4	USER004@UDCOM
TNSW0004	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U04		
	20031128			
#5	自動	GWISE4	USER5	USER005@UDCOM
TNSW0005	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U05		
	20031128			
#6	エラー	GWISE1	USER6	USER006@UDCOM
TNSW0006	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U06		
	20031128			
#7	手動	GWISE2	USER7	USER007@UDCOM
TNSW0007	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U07		
	20031128			
#8	自動(修正あり)	GWISE3	USER8	USER008@UDCOM
TNSW0008	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U08		
	20031128			
#9	エラー	GWISE4	USER9	USER009@UDCOM
TNSW0009	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U09		
	20031128			
処理選択 (1:削除 2:エラーデータ削除 3:再検索 99:中止) を入力してください。==>				

処理選択 (1:削除 2:エラーデータ削除 3:再検索 99:中止)
を入力してください。==>2

- ・ 処理番号 2 を選択すると、表示されているデータの内、区分が“エラー”のデータが削除されます。

(6) 既存データの修正

- ・ 処理番号 3 を選択すると、以下の内容が表示されます。

<検索条件>-----

利用者 ID (Max 20バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>
宛先 (Max 24バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>
メッセージ識別子 (Max 8バイト 省略可 ¥quit:中止) を入力してください。==>

- ・ 省略した場合はデータ全てを検索対象とします。

区分	利用者 ID	宛先	プロセス ID
メッセージ識別子 開放 開始有効日	送信パス		

<検索一覧>-----			
#1 手動	GWISE1	USER1	USER001@UDCOM
TNSW0001 有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U01		
20031128			
#2 自動	GWISE1	USER2	USER002@UDCOM
TNSW0002 有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U02		
20031128			
#3 エラー	GWISE2	USER3	USER003@UDCOM
TNSW0003 無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03		
20031128			
#4 手動	GWISE3	USER4	USER004@UDCOM
TNSW0004 有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U04		
20031128			
#5 自動	GWISE4	USER5	USER005@UDCOM
TNSW0005 無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U05		
20031128			
#6 エラー	GWISE1	USER6	USER006@UDCOM
TNSW0006 有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U06		
20031128			
#7 手動	GWISE2	USER7	USER007@UDCOM
TNSW0007 無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U07		
20031128			
#8 自動(修正あり)	GWISE3	USER8	USER008@UDCOM
TNSW0008 無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U08		
20031128			
#9 エラー	GWISE4	USER9	USER009@UDCOM
TNSW0009 無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U09		
20031128			
処理選択 (#n 処理番号 1:再検索 99:中止)			
を入力してください。==>			

- ・ 処理番号#番号を、選択すると以下の内容が表示されます。データを順番に入力してください。

①区分が“手動”のデータ

処理選択 (#n 処理番号 1:再検索 99:中止)
を入力してください。==>#1

処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

<登録内容の表示>-----

利用者 I D	GWISE
宛先	USER1
メッセージ識別子	TNSW0001
1. プロセス I D	USER001@UDCOM
2. 開放先指定フラグ	有効
3. ファイルパス名	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U01
4. 開始有効日	20031115

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>5

ファイルパス名 (Max 100n^1t ¥quit:中止) を入力してください。==>/DIEX_SHR_T/DCS01-1999U01

<確認>-----

処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1

◎入力規則

- ・ 新規データの入力と同じ条件です。

- ・ 処理番号#番号を、選択すると以下の内容が表示されます。データを順番に入力してください。
 - ・ 全てのデータを入力する必要があります。
- ②区分が”自動”もしくは“は自動(修正有り)”の場合

処理選択 (#n 処理番号 1:再検索 99:中止) を入力してください。==>#1	
処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1	
<登録内容の表示>-----	
利用者 I D	GWISE
宛先	User1
メッセージ識別子	TNSW0001
プロセス I D	USER001@UDCOM
1. 開放先指定フラグ	有効
ファイルパス名	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U01
開始有効日	20031115

修正する項目番号 (99 で中止) を入力してください。==>1	
開放先指定フラグ (0:無効 1:有効 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>0	
<確認>-----	
処理番号 (1:登録内容参照/修正 2:登録 99:中止) を入力してください。==>1	

◎入力規則

- ・ 新規データの入力と同じ条件です。

※注意

区分が“自動”及び“自動(修正有り)”の場合は開放先指定フラグ以外の修正はできません。
区分が“エラー”の場合は、項目の修正はできません。(参照のみ)

(7) 既存データの検索

- 処理番号 4 を選択すると、以下の内容が表示されます。

<検索条件>-----

利用者 ID (Max 20バイト 省略可 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>
宛先 (Max 24バイト 省略可 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>
メッセージ識別子 (Max 8バイト 省略可 ¥¥quit:中止) を入力してください。==>

- 省略した場合はデータ全てを検索対象とします。

区分 メッセージ識別子	開放 開始有効日	利用者 ID 送信パス	宛先	プロセス ID

<検索一覧>-----				
#1	手動	GWISE1	USER1	USER001@UDCOM
TNSW0001	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U01		
	20031128			
#2	自動	GWISE1	USER2	USER002@UDCOM
TNSW0002	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U02		
	20031128			
#3	エラー	GWISE2	USER3	USER003@UDCOM
TNSW0003	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U03		
	20031128			
#4	手動	GWISE3	USER4	USER004@UDCOM
TNSW0004	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U04		
	20031128			
#5	自動	GWISE4	USER5	USER005@UDCOM
TNSW0005	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U05		
	20031128			
#6	エラー	GWISE1	USER6	USER006@UDCOM
TNSW0006	有効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U06		
	20031128			
#7	手動	GWISE2	USER7	USER007@UDCOM
TNSW0007	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U07		
	20031128			
#8	自動(修正あり)	GWISE3	USER8	USER008@UDCOM
TNSW0008	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U08		
	20031128			
#9	エラー	GWISE4	USER9	USER009@UDCOM
TNSW0009	無効	/DIEX_SHR_T/DCS01-0999U09		
	20031128			
<処理選択>-----				
振分けマスタメンテナンス指定方法 (1:新規 2:削除 3:修正 4.検索 99:メニューに戻る)				
を入力してください。==>				

- 検索結果を表示した後、振分けマスタメンテメニュー画面に戻ります。

転送結果照会操作

- ①利用者メニューで 81 を入力します。
- ②下記の条件入力メッセージが順番に表示されます。
- ③不正な値を入力すると”入力された値が不正です。”と表示され再入力を促します。

(1) 転送結果リスト表示の為の条件入力と表示

メッセージ識別子 (MAX8 バイト 省略可) を入力してください。==>							
宛先 (MAX24 バイト 省略可) を入力してください。==>							
要求種別 (1:送信 2:受信 3:送受信 省略:送受信) を入力してください。==>							
日時指定方法 (1:開始終了日付指定 2:過去 XXX 日指定 3:過去 XXX 時間指定) ==>3							
過去何時間分 (MAX:999) を表示しますか==>100							
指示日時	メッセージ識別子	発信元	処理	優先/通常	終了日時	行数	

#1 01/08/01 20:00 00000000	TNSW_01	8419	送信	通常	01/08/01 20:00		
#2 01/08/01 20:05 00000000	TXFW_01	8419	送信	通常	01/08/01 20:05		
#3 01/08/01 20:10 00000000	TDCW_01	8419	送信	通常	01/08/01 20:10		

データが n 件以上ある場合リターンキーを押す事で次のデータを表示します。(n : システム環境にて設定)
q キーを押すことによりデータの表示を中止します。

◎入力規則

- ・メッセージ識別子：大文字英数字のみ
- ・宛先：制約無し。スペースは前 1 バイトのみ可
- ・要求種別：1. 2. 3 のみ
- ・開始終了日付指定：YYMMDDhhmm (西暦下 2 桁, 月, 日, 時間, 分)
- ・過去日：999 日まで
- ・過去時間：999 時間まで

利用者メニュー終了操作

①利用者メニューで 99 を入力します。

非同期モードで送受信を行った場合でも、このメニュー終了により送受信処理が中断されることはありません。